



平成 26 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社ジオネクスト
代表者名 代表取締役社長 浅井 克仁
(JASDAQ・コード 3777)
問合せ先 取締役経営企画管理本部長 成瀬 岳史
電話番号 03-5669-0112

(訂正)「第三者割当により発行される新株予約権の発行に関するお知らせ」の 一部訂正について

平成 26 年 11 月 5 日に開示いたしました「第三者割当により発行される新株予約権の発行に関するお知らせ」におきまして、下記の誤りがございましたので訂正させていただきます。適時開示の修正により株主、投資家の皆様をはじめとする関係者の皆様には多大なるご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

記

訂正箇所は下線で示しております。

【訂正前】

(1 ページ)

当社は、平成 26 年 11 月 5 日開催の取締役会において、第三者割当により発行される新株予約権（以下「本新株予約権」という。）の発行を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、本新株予約権の発行は、平成 25 年 12 月 25 日開催予定の当社臨時株主総会において株主の皆様のご承認を得ることを条件としております。

(6 ページ)

iii. 調剤薬局事業分野

平成 26 年 7 月に株式会社仙真堂を設立し、大型病院の門前調剤薬局開発を目指しております。当初は、特定地域に集中的に展開する地域ドメイン戦略により、認知度の向上及び経営リソースの効率的な共有・運用を行うことができるといった利点を追求していく予定であります。仙真堂調剤薬局の立地選定に当たっては、業務提携を行うコンサルティング企業（日本メディケアホールディングス株式会社・本社東京都港区、及び、株式会社メディカルジャパン・本社東京都新宿区）のアドバイスを受けながら進めており、現時点では、青森県八戸市にある八戸赤十字病院周辺及び同じく青森県八戸市にある青森労災病院周辺に仙真堂調剤薬局を開局する準備中であり、前者は平成 27 年 12 月、後者は平成 28 年 1 月ないし 2 月の開業を予定しております。仙真堂調剤薬局は既存競合店と比較して、利用者の利便性の高い立地と、清潔な店舗、患者顧客の視点に立った薬剤指導、明るい応対ができる新しい調剤薬局の店舗展開を目指しており、上述の自社開発サプリメントの販売も行い、総合的な収益力を高めていく計画です。店舗開発には、新規自社開発のほか、M&A による営業店舗の獲得も視野に入れております。

(8 ページ)

(カ)取得条項

本新株予約権には、以下の取得条項が付与されております。

「当社は、本新株予約権の割当日以降、いずれかの取引日において、株式会社東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値が 20 取引日連続して、当該各取引日における行使価額の 150%を上回った場合、または、50%を下回った場合において、当該連続する 20 取引日の最後の取引日から起算して 30 日以内に残存する本新株予約権の全部または一部を取得することを決定したときは、取得日の 20 取引日前までに本新株予約権者に対する通知または公告を行うことにより、当該取得日に、本新株予約権 1 個当たり 119,000 円の価額で、当該取得日に残存する本新株予約権の全部または一部を取得することができる。本新株予約権の一部の取得をする場合には、抽選その他の合理的な方法により行うものとする。」

(9 ページ)

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1)調達する資金の額(差引手取概算額)

新株予約権発行による調達額	金 41,480,000 円
新株予約権行使による調達額	金 4,148,000,000 円
発行諸費用(注 1)	金 99,861,500 円
新株予約権発行による差引手取概算額	金 4,089,618,500 円

注 1：発行諸費用は、登記費用 14,663,100 円、有価証券届出書作成費用約 500,000 円、割当予定先調査費用約 1,000,000 円、新株予約権価格算定費用約 1,000,000 円、第三者委員会費用約 3,500,000 円、臨時株主総会開催費用約 2,000,000 円、フィナンシャル・アドバイザー(FA)費用約 77,198,400 円(内訳は、新株予約権が割当予定先に割当てられた時点で 32,400,000 円を支払い、新株予約権の行使時に行使額の 1%を支払う契約であり、全量行使の場合に 44,798,400 円)が含まれます。なお、FA は EVOLUTIN 総研株式会社(東京都渋谷区渋谷 3-20-24、代表取締役 ショーン・ローソン)に依頼いたしました。

(16 ページ)

割当予定先である EVO FUND は、ジェネラルパートナーである EVO Investment Advisors Ltd. と Evo Capital Management Asia Ltd. から案件の紹介や投資に係る情報提供を受け運用されるファンドであり、EVO Feeder Fund 以外の出資者はおらず、運用資金は取引先であるプライムブローカーからの短期的な借入を除き、全額自己資金であります。同ファンドはアジア株を中心に運用を行うファンドであります。日本株の投資への投資実績と致しましては、平成 19 年 6 月に株式会社ヒューネット(現・株式会社 RIZE、JASDAQ8836)の新株予約権への投資を行ったほか、運用目的で多数の日本株への投資を行っております。

【訂正後】

(1 ページ)

当社は、平成 26 年 11 月 5 日開催の取締役会において、第三者割当により発行される新株予約権(以下「本新株予約権」という。)の発行を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、本新株予約権の発行は、平成 26 年 12 月 25 日開催予定の当社臨時株主総会において株主の皆様のご承認を得ることを条件としております。

(6 ページ)

iii. 調剤薬局事業分野

平成26年7月に株式会社仙真堂を設立し、大型病院の門前調剤薬局開発を目指しております。当初は、特定地域に集中的に展開する地域ドメイン戦略により、認知度の向上及び経営リソースの効率的な共有・運用を行うことができるといった利点を追求していく予定であります。仙真堂調剤薬局の立地選定に当たっては、業務提携を行うコンサルティング企業（日本メディケアホールディングス株式会社・本社東京都港区、及び、株式会社メディカルジャパン・本社東京都新宿区）のアドバイスを受けながら進めており、現時点では、青森県八戸市にある八戸赤十字病院周辺及び同じく青森県八戸市にある青森労災病院周辺に仙真堂調剤薬局を開局する準備中であり、前者は平成26年12月、後者は平成27年1月ないし2月の開業を予定しております。仙真堂調剤薬局は既存競合店と比較して、利用者の利便性の高い立地と、清潔な店舗、患者顧客の視点に立った薬剤指導、明るい応対ができる新しい調剤薬局の店舗展開を目指しており、上述の自社開発サプリメントの販売も行い、総合的な収益力を高めていく計画です。店舗開発には、新規自社開発のほか、M&Aによる営業店舗の獲得も視野に入れております。

(8 ページ)

(カ)取得条項

本新株予約権には、以下の取得条項が付与されております。

「当社は、本新株予約権の割当日以降、いずれかの取引日において、株式会社東京証券取引所における当社普通株式の普通取引の終値が20取引日連続して、当該各取引日における行使価額の150%を上回った場合、または、50%を下回った場合において、当該連続する20取引日の最後の取引日から起算して30日以内に残存する本新株予約権の全部または一部を取得することを決定したときは、取得日の20取引日前までに本新株予約権者に対する通知または公告を行うことにより、当該取得日に、本新株予約権1個当たり122,000円の価額で、当該取得日に残存する本新株予約権の全部または一部を取得することができる。本新株予約権の一部の取得をする場合には、抽選その他の合理的な方法により行うものとする。」

(9 ページ)

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1)調達する資金の額(差引手取概算額)

新株予約権発行による調達額	金 41,480,000 円
新株予約権行使による調達額	金 4,148,000,000 円
発行諸費用(注1)	金 99,861,500 円
新株予約権発行による差引手取概算額	金 4,089,618,500 円

注1：発行諸費用は、登記費用14,663,100円、有価証券届出書作成費用約500,000円、割当予定先調査費用約1,000,000円、新株予約権価格算定費用約1,000,000円、第三者委員会費用約3,500,000円、臨時株主総会開催費用約2,000,000円、フィナンシャル・アドバイザー(FA)費用約77,198,400円(内訳は、新株予約権が割当予定先に割当てられた時点で32,400,000円を支払い、新株予約権の行使時に行使額の1%を支払う契約であり、全量行使の場合に44,798,400円)が含まれます。なお、FAはEVOLUTION総研株式会社(東京都渋谷区渋谷3-20-24、代表取締役 ショーン・ローソン)に依頼いたしました。

(16 ページ)

割当予定先であるEVO FUNDは、ジェネラルパートナーであるEVO Investment Advisors Ltd.とEvo Capital Management Asia Ltd.から案件の紹介や投資に係る情報提供を受け運用されるファンドであり、EVO Feeder Fund以外の出資者はおらず、運用資金は取引先であるプライムブローカーからの短期的な借入を除き、全額自己資金であります。同ファンドはアジア株を中心に運用を行うファンドであります。日本株の投資への投資実績と致しましては、平成19年6月に株式会社ヒューネット(現・

株式会社 RISE、JASDAQ8836)の新株予約権への投資を行ったほか、運用目的で多数の日本株への投資を行っております。

以上